

* 2024 年度以前に履修登録された GA48（手話入門）とは別科目になりますのでご注意ください

専門教育科目

演習科目

授業科目名	手話入門	科目コード	配当年次	単位
担当教員	谷 千春・北田 美千代	HJ39	1	2

科目の概要

本科目は、聴覚障がい者への理解を深め、手話の基礎知識を習得することを目的とする。日常でよく使う50の手話表現を学んだ上で、交通案内や緊急時、接客場面での基本例文を身につける。例文の習得とともに、基本文法や関連単語、語源も学び、表現力を広げる。手話技能検定5級レベルの基礎を固め、接客・応対での手話（4級レベル）にもチャレンジする。

科目の到達目標

- ①聴覚障がいと聴覚障がいのある方に関する基礎知識と、手話コミュニケーションの要点を理解できる。
- ②日本手話や指文字を用いた基本的なコミュニケーションが実践できる。

テキスト

『動画つき 気持ちが伝わるはじめての手話』谷 千春(監),主婦の友社,2021年
『はじめての手話』谷 千春,産業能率大学,2019年

テキストの読み方

- ①『動画つき 気持ちが伝わる はじめての手話』の動画や写真を活用し、手や表情を使った表現練習を行い、鏡で確認しながら習得を進めること。基本手話を習得後は積極的に実践し、接客・応対の手話表現に挑戦してほしい。
- ②『はじめての手話』では、手話や聴覚障がいの基礎知識を学び、聴覚障がい者とのコミュニケーションの土台となる知識を身につけること。

単位修得の方法

- ①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。
または、
- ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。